

2023年10月27日

## 第35回 大樹生命協賛 University of Michigan Mitsui Life Financial Research Center 国際シンポジウム開催のお知らせ

### テーマ

「“ダイバーシティ・イノベーション”の実現を目指して～持続可能な未来への挑戦」

大樹生命保険株式会社（代表取締役社長 吉村 俊哉、以下「当社」）は、米国ミシガン大学ロス・ビジネススクール Mitsui Life Financial Research Center が主催するシンポジウム（略称「第35回 大樹生命協賛 ミシガン大学国際シンポジウム」）に協賛するとともに、本シンポジウムへの参加をご希望される方のお申込みの受付を開始しますので、お知らせします。

### 記

#### 1. 開催概要

日時	2023年12月6日（水）13:00～15:30
開催方法	Zoomによるオンライン開催（ウェビナー形式）
テーマ	「“ダイバーシティ・イノベーション”の実現を目指して ～持続可能な未来への挑戦」
参加費	無料
定員	200名（定員になり次第、受付を締め切らせていただきます）
主催	ミシガン大学ロス・ビジネススクール Mitsui Life Financial Research Center
協賛	大樹生命保険株式会社

#### 2. プログラム

12:45～	Zoom ウェビナー入室開始
13:00～13:10	開会 主催者挨拶：Andrey Malenko（ミシガン大学ロス・ビジネススクール Mitsui Life Financial Research Center Director） 祝辞：吉村 俊哉（大樹生命保険株式会社 代表取締役社長） 登壇者紹介：若杉 敬明（Mitsui Life Financial Research Center Co-director、東京大学名誉教授）
13:10～13:30	問題提起 「ダイバーシティ・女性活躍推進の歩み」 村田 恒子（株式会社東京精密 他3社の社外取締役、公認不正検査士）
13:30～15:20	パネル・ディスカッション「“ダイバーシティ・イノベーション”の実現を目指して ～持続可能な未来への挑戦」 モデレーター：村田 恒子（前出） パネリスト：天野 玲子（東日本旅客鉄道株式会社 取締役（社外）） 定塚 由美子（公益財団法人 21世紀職業財団 会長） 宮井 真千子（森永製菓株式会社 取締役常務執行役員）
15:30	閉会

### 3. お申込み方法

本シンポジウムへの参加をご希望される方は、こちらの QR コードを読み取りいただくか、以下 URL より参加登録をお願いします。

URL : [https://intergroup.zoom.us/webinar/register/WN\\_JVgOqBHsTripb8duYhBsvQ](https://intergroup.zoom.us/webinar/register/WN_JVgOqBHsTripb8duYhBsvQ)

申込み締切：2023 年 11 月 30 日（木）



### 4. お問い合わせ先

シンポジウムの開催に関し、ご不明な点等ございましたら、以下事務局までご連絡ください。

第 35 回 大樹生命協賛 ミシガン大学国際シンポジウム 事務局

(大樹生命保険株式会社 企画部 調査グループ内)

電 話 03-6831-8050

E-mail [Kouhou@taiju-life.co.jp](mailto:Kouhou@taiju-life.co.jp)

#### ミシガン大学ロス・ビジネススクール

#### Mitsui Life Financial Research Center について

Mitsui Life Financial Research Center は、E・ハン・キム教授（ロス・ビジネススクール教授）および若杉敬明名誉教授（当時 東京大学経済学部教授）の尽力の下、1990（平成 2）年 9 月、当時の三井生命（現 大樹生命）の寄付により、ミシガン大学ビジネススクール（ミシガン州アナーバー）内の研究機関として創立されました。

当初の目的として、環太平洋地域（アジア・アメリカ）の金融資本市場の発展を掲げましたが、その後ファイナンスおよび金融経済学全般に活動の幅を広げ、ワーキングペーパーの刊行、研究助成金および奨学金等による研究支援を行ってきました。それとともに、ファイナンスに関する国際シンポジウムを日米で定期的開催しており、その活動は世界のファイナンス学界で高い評価を得ています。

なお、ミシガン大学ビジネススクールは、2004 年（平成 16 年）9 月、多額の寄付を行った卒業生スティーブン M.ロス氏にちなんで、「ロス・ビジネススクール（Stephen M. Ross School of Business at the University of Michigan）」と名称が変更されました。

別紙

ミシガン大学ロス・ビジネススクール



第 35 回 大樹生命協賛

University of Michigan

Mitsui Life Financial Research Center

国際シンポジウム

\* テーマ \*

「“ダイバーシティ・イノベーション”の実現を目指して  
～持続可能な未来への挑戦」

日時：2023年12月6日（水）13:00～15:30

開催方法：Zoomによるオンライン開催（ウェビナー形式）

参加費：無料

主催：Mitsui Life Financial Research Center at the University of Michigan Stephen  
Ross School of Business

協賛：大樹生命保険株式会社

# 開催にあたって

1990年、当社の寄付によって設立されたMitsui Life Financial Research Centerは、ミシガン大学ロス・ビジネススクールの主要な研究機関の一つとして、主にファイナンス、金融経済学に関する分野を中心に最先端の調査・研究活動を行っております。その一環として、米国では毎年、東京では1年おきに、こうした国際シンポジウムを開催しております。

当社では、その社会的意義に賛同し、1990年の同Center創立以来、東京で開催される国際シンポジウムの開催を支援してまいりました。

第35回目を迎える本シンポジウムは「“ダイバーシティ・イノベーション”の実現を目指して～持続可能な未来への挑戦」というテーマで開催いたします。

はじめに問題提起として、株式会社東京精密 他3社の社外取締役・公認不正検査士の村田恒子氏より、「ダイバーシティ・女性活躍推進の歩み」と題して、お話しいただきます。これまで民間企業ならびに公的機関で要職を務められ、こうしたご経験を踏まえた貴重なお話をいただけるものと考えております。

続くパネル・ディスカッションでは、それぞれ豊富な経験を持ち、現在も様々な分野でご活躍されている、天野玲子氏、定塚由美子氏、宮井真千子氏の御三方にパネリストとしてご参加いただき、ダイバーシティの実現に向けて、現状や課題等を整理し、今後の取るべき具体策等について議論いただきます。多彩なパネリストの方々が、それぞれのお立場から示唆に富んだ議論をしていただけるものと期待しております。

近年では、国際的にもダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DE&I）の重要性が提唱され、我が国においても、2023年6月には「女性版骨太の方針2023」（女性活躍・男女共同参画の重点方針2023）が決定されるなど、政府としてもDE&I実現に向けた取組みを加速させております。企業をはじめ、社会全体においても、DE&I、女性活躍推進の実現に向けた取組みを進めてはいるものの、現状かならずしも順調とはいえない面があると認識しており、まだまだ解決すべき課題も多いことと考えております。

こうした現下の状況を踏まえ、日頃当社がお世話になっております皆さま方におかれましても、今回のテーマは非常に大きな関心を寄せられている事項であると考えております。今回のシンポジウムが、ご参加いただいた皆さまにとりまして有益なものとなり、少しでもお役に立てれば幸いです。



2023年12月6日

大樹生命保険株式会社  
代表取締役社長 吉村 俊哉



# シンポジウムの概要

今回のシンポジウムはテーマとして現代社会の課題である“多様性-Diversity”を取り上げました。ファシリテーターとして村田恒子さんをお迎えしてパネルディスカッションを展開していただきます。以下は村田さんのパネリストおよび皆さまに向けての問題提起です。

Mitsui Life Financial Research Center  
Co-director 若杉敬明

## パネルディスカッション

### 「ダイバーシティ・イノベーション」の実現を目指して～持続可能な未来への挑戦

本年6月の「女性版骨太の方針」（女性活躍・男女共同参画の重点方針2023）において、プライム市場上場企業を対象に、2025年を目途に、女性役員を1名以上選任するよう努めること、また2030年までに、女性役員の比率を30%以上とすることを目指すことなどが定められました。

しかし、男女雇用機会均等法施行後37年が経過し、以来、育児・介護休業法、パートタイム労働法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法が成立し、女性の就業環境を改善する法律は整備されてきたものの、世界経済フォーラム（WEF）のジェンダー・ギャップ指数では、日本のランクダウンが続き、2023年は、146か国中125位という過去最低の不名誉な順位で、いまだに日本の男女格差——特に「経済」と「政治」分野——は、改善には程遠いといわざるを得ない状況が続いています。

もともと、1990年の国連ナイロビ将来戦略勧告において、「指導的地位に就く婦人の割合を、1995年までに少なくとも30%にまで増やす」との数値目標が設定され、日本でも、2003年6月の男女共同参画推進本部決定で、「社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度になることを期待」する決定がなされました。しかし、目標達成ができないまま、期限がどんどん後ろ倒しに再設定されて今日に至っていることは残念としかいえません。

2015年のコーポレートガバナンス・コード制定以来、女性の社外取締役の数は、確実に増加してはきているものの、企業内の業務執行取締役や執行役員における女性の人数は、それほどまでには増加していないのが現状です。

女性活躍推進、特に、女性の管理職登用、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの実現に向けて、性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）をなくしていくこと、また、男性も含めた長時間労働の削減や育児休暇の取得等の働き方改革を実現していくことが、従業員のウェルビーイングを高め、人的資本投資の要請にも適い、ジェンダー平等を加速し、日本のジェンダー・ギャップ指数を高め、少子化対策にもつながることと確信しています。

昨今、イノベーションが、国を挙げて経済成長の源として、価値創造、変革、経営刷新として語られることが多いですが、欧州委員会が昨年、クォータ制の導入を決定した際に、フォンデアライエン欧州委員長が「多様性は公平性の問題だけでなく、成長と技術革新を促進するものだ」との声明を発表したことも記憶に新しいところです。

今回のシンポジウムのテーマを、「“ダイバーシティ・イノベーション”の実現を目指して～持続可能な未来への挑戦」と定め、パネリストの皆さまと一緒に、様々な視点からダイバーシティとりわけ女性活躍推進とジェンダー平等について、現状と課題を議論し、今後採るべき具体策について模索したいと考えています。

村 田 恒 子

(株) 東京精密 社外取締役 監査等委員

(株) ミルボン 社外取締役

(株) カクヤスグループ 社外取締役

サンフロンティア不動産 (株) 社外取締役 監査等委員

公認不正検査士

## プロフィール (敬称略)



あまのれいこ  
**天野 玲子**

**東日本旅客鉄道株式会社  
取締役(社外)**

「黒部の太陽」を観てダムに憧れ、土木屋を志す。

1980年 女性土木総合職第一号として鹿島建設に入社。

技術研究所、土木設計本部でコンクリート橋梁に関する研究開発・設計業務に携わり、土木管理本部、知的財産部にて研究開発管理業務に従事する。

東京大学 生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター 客員教授、

国立研究開発法人 防災科学技術研究所 審議役、

国立研究開発法人 国立環境研究所 監事(非常勤)、

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 監事(非常勤)、

東日本旅客鉄道株式会社 取締役(社外)、

株式会社横河ブリッジホールディングス 取締役(社外)、

株式会社ゆうちょ銀行 取締役(社外)等を歴任

1983年に建設業界で立ち上がった(一社)土木技術者女性の会の立ち上げメンバーの一人。

関東支部世話役、副会長、事務局長等を経て、現在は顧問

### 主な賞歴

1989年 土木学会 奨励賞

「三次元立体繊維補強コンクリートのL型部材への利用」

1999年 日本コンクリート工学協会 技術賞

「高強度鉄筋を用いたRC橋脚部材の開発」

2010年 Society for Social Management Systems (SSMS)

SSMS Outstanding Paper Award

「Earthquake Hazard Mitigation in Urban Areas by the Integration of  
Socio and Engineering Approach」

2011年 建築学会賞(技術賞)

「微細な水粒子幕を用いた防火設備の開発」



## プロフィール (敬称略)



じょうづか ゆみこ  
**定塚 由美子**

**公益財団法人 21世紀職業財団 会長**

1984年 東京大学法学部卒業

1984年 労働省（現 厚生労働省）入省

（以後、雇用均等・両立支援を中心に労働関係、福祉関係行政に携わる。神奈川県庁、米国労働省、岡山県庁、自治省、内閣府男女共同参画局にも出向。）

2014年 内閣官房内閣人事局内閣審議官（女性活躍、勤務時間等担当）

2016年 厚生労働省社会・援護局長

2018年 厚生労働省大臣官房長

2019年 厚生労働省人材開発統括官（2020年 退官）

2023年6月 公益財団法人 21世紀職業財団 会長

専門は、ダイバーシティ、女性活躍、働き方改革

現在、上記のほか、

清水建設株式会社社外取締役

東急不動産ホールディングズ社外取締役

日本司法支援センター（法テラス）理事

大阪大学 D&I センター 招へい教授

社会福祉法人中央共同募金会 監事 等

## プロフィール (敬称略)



みやい まちこ  
**宮井 真千子**  
森永製菓株式会社  
取締役常務執行役員

1983年、松下電器産業(現 パナソニック)入社。自動パン焼き機やIH炊飯器、ななめドラム洗濯乾燥機等、いずれも第一号商品を開発。消費者研究とテクノロジーを融合させ、ヒット商品を連打する。

40歳でパナソニック初の女性研究所長、以降パナソニック初女性理事、事業部長、役員となる。

パナソニック役員退任後は、森永製菓、加藤産業、吉野家ホールディングスと、「食」産業の経営に社外取締役として携わる。同時に内閣府外局の個人情報保護委員会委員や和歌山県産業技術戦略会議委員等、行政委員も歴任。2018年に森永製菓の取締役常務執行役員に就任。現在は、NPO 法人サステナビリティ日本フォーラムの会長として、企業のサステナビリティ向上に向けた支援活動も展開。

- 2014年6月 森永製菓株式会社 社外取締役
- 2014年12月 加藤産業株式会社 社外取締役
- 2015年5月 株式会社吉野家ホールディングス 社外取締役
- 2018年6月 森永製菓株式会社 取締役常務執行役員 (現)
- 2019年2月 NPO 法人サステナビリティ日本フォーラム 会長 (現)
- 2022年4月 お茶の水女子大学 非常勤監事 (現)
- 2022年6月 積水化学工業株式会社 社外取締役 (現)

### <著書>

- ・「食と科学技術」 ドメス出版 共著
- ・「ローカーボングロウス」 海象社 共著

### <連載>

- ・日刊工業新聞 「卓見異見」連載 5回執筆

## プロフィール (敬称略)



むら た つね こ  
**村田 恒子**

(株) 東京精密 社外取締役 監査等委員  
(株) ミルボン 社外取締役  
(株) カクヤスグループ 社外取締役  
サンフロンティア不動産(株) 社外取締役  
監査等委員  
公認不正検査士

1982年 京都大学 法学部 卒業、松下電器産業(現パナソニックホールディングス)(株)入社  
1999年 松下電器ブラッセル事務所 課長として、ベルギーに駐在  
2002年 パナソニック モバイルコミュニケーションズ(株) 法務部長  
2003年 松下電器産業(株) パナソニック システムソリューションズ社 法務部長  
2007年 松下電器産業(株) 理事 ホームアプライアンス社 法務・CSR部長  
2010年 文部科学省に出向、生涯学習政策局 生涯学習官(初代)  
2013年 パナソニック(株) リーガル本部 特命担当理事  
2014年 日本年金機構 理事 兼 法務・コンプライアンス部長  
2015年 日本年金機構 理事 兼 近畿ブロック本部長  
2016年 日本年金機構 常勤監事  
2018年 (株)日本政策金融公庫 社外監査役  
(株)アドバンテスト 社外取締役 監査等委員  
2019年 (株)フジクラ 社外取締役 監査等委員  
2021年 (株)ミルボン 社外取締役(現任)  
(株)カクヤスグループ 社外取締役(現任)  
2022年 (株)東京精密 社外取締役 監査等委員(現任)  
サンフロンティア不動産(株) 社外取締役 監査等委員(現任)  
2023年 公認不正検査士登録

内閣府「独占禁止法基本問題懇談会」の委員(2005年～2007年)

政府初のインターネットシンポジウム(内閣府主催)「身近な場における安全・安心」の  
パネリスト(2006年)

公益財団法人全日本柔道連盟 経営管理委員会委員(現任)

一般社団法人日本コーポレートガバナンス研究所 アドバイザリーボード委員(現任)

一般社団法人経営研究所 理事(現任)

- ・「鷹の目と蟻の目～なぜ不祥事対策の効果が上がらないのか」対談記事(第一法規「会社法務A2Z」2022年11月号・12月号)
- ・「しなやかに、たおやかに、そして自分らしく～組織と自身の活性化に向けて」(「京都大学男女共同参画への挑戦」(明石書店)共著)
- ・明日の企業法務を考える～経営への「ビルトイン」の重要性(商事法務NBL No. 800)

## プロフィール (敬称略)



わか すぎ たか あき  
**若 杉 敬 明**

東京大学名誉教授  
ミシガン大学ロス・ビジネススクール  
Mitsui Life Financial Research Center  
Co-director  
日本コーポレートガバナンス研究所  
代表理事

専門はファイナンスおよびコーポレートガバナンス。  
現在、地方公務員共済組合連合会運用基本問題研究会 座長  
地方公務員共済資金運用委員会 座長  
住宅金融支援機構事業運営審議会 委員長  
日本年金数理人会 評議員  
石井記念証券研究振興財団 理事  
電気通信普及財団 理事 等々。

これまでに、日本経営財務研究学会 会長  
証券取引審議会・社会保障審議会・国民生活審議会・郵政審議会等の各委員  
(株)リコー取締役、日本水産(株)取締役、JFEホールディングス(株)監査役、  
(株)ドコモ監査役等を歴任。

著書・執筆論文等

- ・著書「新版 入門ファイナンス」(中央経済社)
- ・監訳「プライベート・エクイティ」(中央経済社)
- ・共著「グッド・ガバナンス グッド・カンパニー」(中央経済社)
- ・共著「コーポレートガバナンス・マニュアルー21世紀日本企業の条件ー」  
(中央経済社)
- ・共著「コーポレートガバナンスにおける商法の役割」(中央経済社)
- ・「株主が目覚める日ーコーポレートガバナンスが日本を変えるー」  
(商事法務)
- ・「企業財務」(東京大学出版会) ほか多数。

## プロフィール (敬称略)



### **M. P. Narayanan**

**Robert Morrison Hoffer Professor of  
Business Administration  
Professor of Finance**

M. P. ナラヤナン教授は、ミシガン大学スティーブン・M・ロス・スクール・オブ・ビジネスにおいてロバート・モリソン・ホフファー経営学教授。

1986 年よりミシガン大学教授。2003 年から 2009 年までファイナンス学科チェアマン、2012 年から 2015 年までエグゼクティブ MBA プログラムのファカルティ・ディレクターを務める。現在は Mitsui Life Financial Research Center 所長を兼任。

コーポレート・ガバナンス、経営インセンティブと役員報酬、M&A、事業売却、資本構成など、コーポレート・ファイナンスに関する研究に従事。

彼の研究は、すべての主要なファイナンスジャーナルに掲載されている。“戦略的意思決定のためのファイナンス”の共著者。MBA およびエグゼクティブ MBA プログラムでコーポレート・ファイナンス・コースを教えており、MBA および EMBA プログラムの優秀な教授として学生賞を数回受賞している。

ナラヤナン教授は、経営幹部育成において国際的な経験が豊富で、米国内外の一流企業に幅広くコンサルティングも行っている。

## Mitsui Life Financial Research Center について

- 名 称 : Stephen M. Ross School of Business at the University of Michigan  
Mitsui Life Financial Research Center  
ミシガン大学ロス・ビジネススクール  
Mitsui Life Financial Research Center
- 所在地 : 米国ミシガン州アナーバー
- 設 立 : 1990年9月21日
- 経 緯 : 三井生命保険相互会社（現 大樹生命保険株式会社）によって寄付された基金により、ミシガン大学ロス・ビジネススクールの一研究機関として設立
- 活 動 : Mitsui Life Financial Research Center は、ミシガン大学ロス・ビジネススクールの一研究機関として、その教授陣、大学院生および客員研究員に対してファイナンス研究の場と環境を提供することを目的として、大樹生命の寄付により設立されました。

E・ハン・キム教授（ロス・ビジネススクール教授）、若杉敬明名誉教授（当時東京大学経済学部教授）の両理事の下、当初、環太平洋地域（アジア・アメリカ）の金融資本市場の発展を掲げ活動してきましたが、その後ファイナンスおよび金融経済学全般に対象を広げており、その活動は世界のファイナンス学界で高い評価を得ています。

学内ではワーキングペーパーの発行や研究成果のデータベース化、並びに若手教授および大学院生への研究助成や奨学金の支給などを通して、ロス・ビジネススクールのファイナンス研究および教育に大いに貢献してきました。

こうした活動と並行して、毎年、ミシガン大学においてファイナンスに関するアカデミックな国際ファイナンスシンポジウムを開催してきました。また、東京では1年おきに、広く一般の方々を対象に、その時々の特ピックスを分かりやすく取り上げてシンポジウムを開催しており、毎回好評を頂いております。